

令和4年度

学校要覧



富山県立南砺福野高等学校

〒939-1521 富山県南砺市苗島443番地

事務室 TEL(0763)22-2014 FAX(0763)22-3194
 職員室 TEL(0763)22-3017
 進路指導室 TEL(0763)22-2331 FAX(0763)22-2332
 HP <http://www.nantofukuno-h.tym.ed.jp>
 E-mail nantofukunoko@ed.pref.toyama.jp

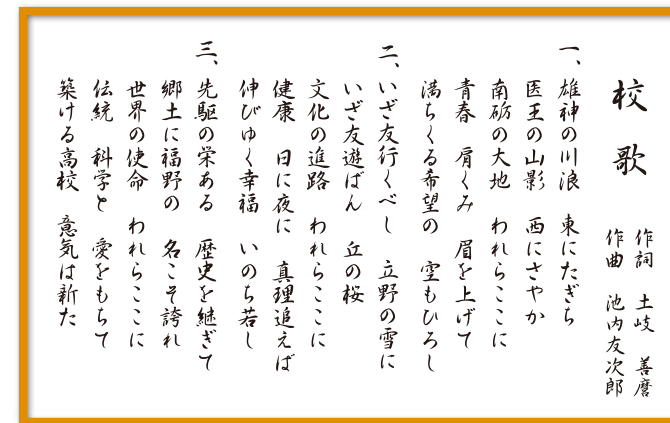
4つの学科が連携した総合的な学校づくり

人と人をつなぎ ともに学ぶ学校	授業や特別活動に「学び合い活動」を取り入れ、思考力や判断力を伸ばします。また、聞く力やコミュニケーション能力も高めます。
豊かな国際感覚 を育む学校	世界の様々な文化・歴史・国際関係を学ぶ専門科目を開講し、外国人と交流する活動を通して国際感覚を身につけ、国際的視野を広げます。
自然にやさしい みどりの学校	野菜収穫をはじめ、庭園づくり、壁面緑化など、みどりの学校づくりに全校で取り組み、自然を愛する態度を身につけます。
いのちを愛しむ 福祉の学校	介護実習や地域でのボランティア活動を通して福祉についての理解を深め、いのちを愛しむ態度を身につけます。



スクールモットー

学び合い 高め合おう



教育目標

互いに切磋琢磨し学び合い高め合う喜びを身につける
 生活習慣を正し、健やかな心身を保つ態度を身につける
 地域体験から地球へと広がる探究の楽しさを身につける
 社会貢献と自己実現を図る進路選択の態度を身につける
 地域の歴史や文化を尊重し継承する態度を身につける
 広い視野を持ち、多様な人々と協調する態度を身につける

教育方針

自他を励まし、互いに教え合う教育活動に取り組む
 健全な生活習慣や心身を鍛える教育活動に取り組む
 地域や地球の課題を探究する教育活動に取り組む
 社会貢献体験や自己洞察する教育活動に取り組む
 地域の歴史や文化に共感する教育活動に取り組む
 表現力や発信力を高め、国際感覚を養う教育活動に取り組む

沿革の概要

- | | | | | | |
|---|-------|--|---|-------|--|
| 明 | 27・10 | 富山県簡易農学校として創立 | 昭 | 56・8 | 3号館鉄筋3階建校舎竣工 |
| 〳 | 31・3 | 富山県農学校と改称 | 〳 | 59・10 | 創立90周年記念式典挙行、セミナーハウス「志学館」竣工 |
| 〳 | 34・10 | 富山県立農学校と改称 | 〳 | 63・3 | ライブラリーセンター「啓明館」竣工 |
| 大 | 10・4 | 富山県立福野農学校と改称 | 平 | 2・3 | 第2体育館竣工、農業科・畜産科・農業土木科・林産科募集停止 |
| 昭 | 19・4 | 農業土木科設置 | 〳 | 2・4 | 農業科学科、緑地工学科設置(平12・3募集停止) |
| 〳 | 21・4 | 畜産科設置 | 〳 | 3・3 | 環境制御温室竣工 |
| 〳 | 23・4 | 学制改革により富山県立福野農業高等学校となる
林業科設置(昭40・4、林産科と改称) | 〳 | 5・9 | 巖浄閣前庭園竣工 |
| 〳 | 23・6 | 本校に定時制農業科(昼間)設置(昭43・3、募集停止) | 〳 | 6・10 | 創立100周年記念式典挙行、「東雲ホール」竣工 |
| 〳 | 23・9 | 学区制実施により総合制(普通・農業・畜産・農業土木・林業・紡織・色染料)の富山県立福野高等学校となる | 〳 | 7・3 | 緑地工学科棟竣工 |
| 〳 | 24・4 | 本校に定時制普通科(夜間)設置(昭49・3、募集停止) | 〳 | 7・4 | 福野高等学校平分校、校名変更により福野高等学校平高等学校となる |
| 〳 | 25・2 | 校歌制定 | 〳 | 9・5 | 「巖浄閣」が国重要文化財の指定を受ける |
| 〳 | 25・6 | 平分校(定時制普通科)設置、校旗樹立 | 〳 | 12・4 | 農業環境科設置 |
| 〳 | 32・4 | 農村家庭科設置(昭38・4、生活科と改称、昭41・3、募集停止) | 〳 | 17・4 | 富山県立南砺総合高等学校福野高等学校と改称 |
| 〳 | 33・4 | 工業化学科設置(昭46・3、募集停止) | 〳 | 17・8 | 「巖浄閣」保存修理工事竣工 |
| 〳 | 37・4 | 食品化学科設置(昭57・3、募集停止) | 〳 | 17・10 | 創立111周年記念式典挙行 |
| 〳 | 39・9 | 平分校の定時制を廃止し、全日制普通科を設置 | 〳 | 22・4 | 南砺総合高等学校井波高等学校との再編新設校「富山県立南砺福野高等学校」として開校(普通科5学級、農業環境科1学級、福祉科1学級) |
| 〳 | 39・11 | 70周年記念会館竣工 | 〳 | 23・8 | 福祉実習棟竣工 |
| 〳 | 39・11 | 創立70周年記念式典挙行 | 〳 | 24・3 | 南砺総合高等学校井波高等学校 閉校 |
| 〳 | 43・8 | 2号館(鉄筋コンクリート造り3階建校舎)竣工 | 〳 | 26・3 | 介護福祉士受験資格が取得できる福祉系高等学校に指定され、定員が30人となる |
| 〳 | 44・3 | 旧本館の一部を移築改装し「巖浄閣」と命名 | 〳 | 26・11 | 創立120周年記念式典挙行 |
| 〳 | 44・3 | 格技場竣工 | 令 | 2・4 | 南砺福光高校との再編統合による新高校「富山県立南砺福野高等学校」開校 |
| 〳 | 48・3 | 1号館(鉄筋コンクリート造り3階建校舎)竣工 | 〳 | 26・11 | 普通科4学級、国際科1学級、農業環境科1学級、福祉科1学級募集 |
| 〳 | 49・10 | 創立80周年記念式典挙行、前庭造園工事竣工、「80年史」発行 | 令 | 3・4 | 複合教育棟竣工 |
| 〳 | 52・4 | 第1体育館竣工 | | | |

巖 淨 閣



国指定重要文化財 巖淨閣全景

明治36年4月、富山県立農学校校舎として建設される。和洋折衷2階建てで明治以降の代表的な建築であり、昭和62年「富山県の建築百選」に選定された。平成9年5月、国の重要文化財に指定された。

明治42年9月29日、皇太子殿下（のちの大正天皇）が本校へ行啓され、2階（当時講堂）に御座所を設け、知事より学校一覽・施設等をご説明したことが「行啓記録」に記載されている。

平成9年に国重要文化財の指定を受け、平成14年から4年計画で大がかりな解体、保存修理事業が行われ、平成17年8月には建築当時の姿に復元された。



東雲ホール(創立100周年記念)



啓明館(図書館)



セミナーハウス 志学館

進学状況

令和2・令和3年度合格者数(過年度卒業生を含む)

大学名	R2年度		R3年度	
	合格者数	合格者数	合格者数	合格者数
富山大学	11	18		
金沢大学	5	3		
新潟大学	2	2		
上越教育大学	1	2		
北海道大学	1	1		
山形大学	1	1		
東北大学	1	1		
群馬大学	1	1		
茨城大学	1	2		
山梨大学	1	1		
静岡大学	1	1		
信州大学	1	1		
愛知教育大学	1	1		
奈良女子大学	1	1		
高知大学	1	1		
島根大学	1	1		
国立大学合格者数合計	23	35		
富山県立大学	13	14		
新潟県立大学	3	2		
長岡造形大学		1		
三条市立大学	3			
福井県立大学	4	3		
公立小松大学	6	3		
長野大学	1	1		
石川県立大学	1	1		
宮城大学	1	1		
静岡県立大学	1	1		
山形保健医療大学	1	1		
高崎経済大学	1	1		
都留文科大学	2	2		
岡山県立大学	1	1		
県立広島大学	1	1		
広島市立大学	1	1		
公立鳥取環境大学	1	1		
公立大学合格者数合計	32	34		
国公立大学合格者数合計	55	69		

就職状況

令和3年度産業界就職状況

産業別分類	令和3年度産業界就職状況			
	普通	農業環境	福祉	合計
学生数	120 (63)	28 (16)	29 (27)	177 (106)
農林業		2		2
建設業		6 (1)		6 (1)
製造業		7 (4)		7 (4)
電気・ガス・水道				
運輸・通信		1 (1)		1 (1)
卸小売・飲食業				
サービス業	1 (1)			1 (1)
医療・福祉			10 (9)	10 (9)
その他		1		1
公務員				
合計	1 (1)	17 (6)	10 (9)	28 (16)

() は女子で内数

図書館蔵書数

Vはビデオ
DはDVD
()の数を含む

種別	蔵書数(冊)
総記	2,349
哲学	1,899
歴史	3,960 (D8枚)
社会科学	5,403 (V1本, D7枚)
自然科学	4,997 (V5本, D13枚)
技術	1,649 (D1枚)
産業界	2,797 (D4枚)
芸術	2,941 (D21枚)
言語	1,659
文学	12,099
計	39,753

教科	科目	標準単位数	農業環境科					
			1年	2年		3年		
国語	現代の国語	2	2	1				
	国語文化	2	1	2				
歴史	地理総合	4				3		
	歴史総合	2		2		2		
公民	政治・経済	2	2					
	政治・経済	2				20		
数学	数学I	3	3					
	数学II	4				3		
理科	科学と人間生活	2	3					
	化学基礎	2		3	3		3	
体育	体育	7~8	3	3			3	
	保健	2	1	1				
芸術	音楽I	2	20					
	音楽II	2	20					
外国語	英語コミュニケーションI	3	3					
	英語コミュニケーションII	4		3		2		
家庭	家庭総合	4	2		2			
	ライフデザイン	2		1			20	
情報	情報I	2						
共通教科・科目計			22	19・20		16・18・20		
農業	農業と環境	4~6	4					
	課題研究	2~6						
	総合実習	4~8	4(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	
	農業と情報	2~6		2	2			
	作物	2~8					2	
	野菜	2~8		2				
	果樹	2~8		2				
	草花	2~8					2	
	栽培と環境	2~6					2	
	植物バイオテクノロジー	2~6	3				2	
	食品製造	2~8		2	2		2	
	食品化学	2~8		1	1		1	
	食品微生物	2~6					2	
	農業土木設計	2~8					2	
	農業土木施工	2~6				2	2	
水循環環境	2~6					2		
造園施工管理	2~6					2		
造園植栽	2~6				2	3		
測生物活用	2~8					3		
造園デザイン	2~6		1	1	1			
家庭	フードデザイン	2~7				2		
福祉	介護福祉基礎	2~6		1		20		
	総合福祉実践					2		
専門教科・科目計			11(1)	13(1)・14(1)		13(1)・15(1)・17(1)		
合計			33(1)	33(1)		33(1)		
総合的な探究の時間(啓蒙の時間)			1(38)	1(38)		1(38)		
ホームルーム活動(週当たり授業時数)			1:35(1)	1:35(1)		1:35(1)		
備考			○より1科目選択	【進路型総合選択】 ★より1科目選択	▲より1科目選択	【進路型総合選択】 ○より1科目選択		

農業環境科

農業の知識と技術を習得

野菜、草花、土木に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得をめざす。2年次より進路に合わせて、3つの類型に分かれる。

実践力と問題解決能力の育成

農業実習や共学農園、インターンシップなどの活動を通して、職



業人として必要な問題解決の能力や創造性および実践力を身につけた人間の育成をめざす。

福祉科

県内唯一の福祉科

県内唯一の福祉科として、福祉に関する専門的な知識と技術の定着を図り、地域の福祉を支える介護のスペシャリストや、福祉社会に貢献できる人材の育成をめざす。

高校3年の1月に介護福祉士国家試験(筆記)の受験が



でき、合格すれば実技試験免除で介護福祉士国家資格が取得できる。

部活動等

〈運動部〉

野球、ソフトボール、陸上、スキー、サッカー、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、山岳、水泳、(相撲、)男子バスケットボール、女子バスケットボール、バドミントン、男子バレーボール、女子バレーボール、なぎなた、卓球、柔道、剣道、ライフル射撃、新体操

〈文化部〉

演劇、合唱、クッキング、茶道、写真、吹奏楽、美術、ユネスコ、自然科学、文芸、書道、ESS

〈局〉

新聞局、放送局

部活動の主な成績 (R3年度大会出場) ☆は団体・個人

卓球	☆北信越大会	
スキー	・全国高校総体	
なぎなた	・全国高校総体	・北信越大会
女子ソフトテニス	・全国高校総体	☆・北信越大会
陸上	・北信越大会	・北信越新人大会
男子バレーボール	☆全国高校総体	☆北信越大会
水泳	・北信越大会	
剣道	☆・北信越大会	☆北信越新人大会
柔道	・北信越大会	
新体操	☆・北信越大会	
放送局	☆NHK杯全国高校放送コンテスト	☆全国高総文祭
	☆・北信越大会	
ライフル射撃	・北信越大会	・北信越新人大会
	・全国選手権大会	・全国選抜大会



男子バレーボール部



放送局



ライフル射撃部



吹奏楽部



なぎなた部

学校行事

令和4年度

4月	7月	10月	1月	2月
・始業式・入学式 ・対面式 ・校歌応援歌練習	・介護実習(1・2・3福) ・終業式 ・校内農業鑑定競技会(農)	・福志式(福) ・介護実習(2福) ・芸術鑑賞会 ・創立記念日(29日)	・始業式 ・寒稽古 ・納会 ・創作ダンス発表会	・課題研究発表会(農) ・介護総合演習発表会(福)
5月	8月	11月	3月	
・野菜苗、花壇苗販売(農) ・遠足 ・介護実習(3福)	・進路研修旅行(2普) ・授業開始(下旬)	・生徒会長選挙 ・高文祭	・卒業式 ・介護実習(1福) ・オーストラリア語学研修(2国) ・終業式	
6月	9月	12月		
・高校総体 ・体育大会 ・生徒会長選挙 ・介護実習(2・3福)	・始業式 ・介護実習(2・3福) ・インターシップ(2農) ・球技大会 ・福祉施設訪問(1福) ・プリティッシュヒルズ語学研修旅行(1国) ・文化展	・介護実習(1・2福) ・収穫感謝の集い ・海外研修旅行(2農) ・研修旅行(2福) ・終業式		



体育大会



福野高校の礎を築いた
島巖先生



島巖翁 記念碑

本校の創設

本校は、富山県簡易農学校として明治27年(1894年)10月29日に発足した。創校の端緒は、さらに十数年の昔、明治12年にさかのぼる。砺波郡東般若村権正寺(現在、砺波市権正寺)の人、島巖先生が死の床にあって書き残された遺言と遺産が本校を生み出す母体となったのである。

先生は天保9年、砺波地方の名門に生まれ、のちに推されて石川県議員となり、地方産業の発展に日夜努力された。

生前、先生は早くから砺波地方の産業開発と、それに必要な人材育成の重要性を認識され、当時、諸産業の基盤であった農業振興の人材養成機関として、農学校を設けることの極めて緊要なことを、県当局や地方有力者に熱心に説かれたが、なかなか実現にはいたらなかった。

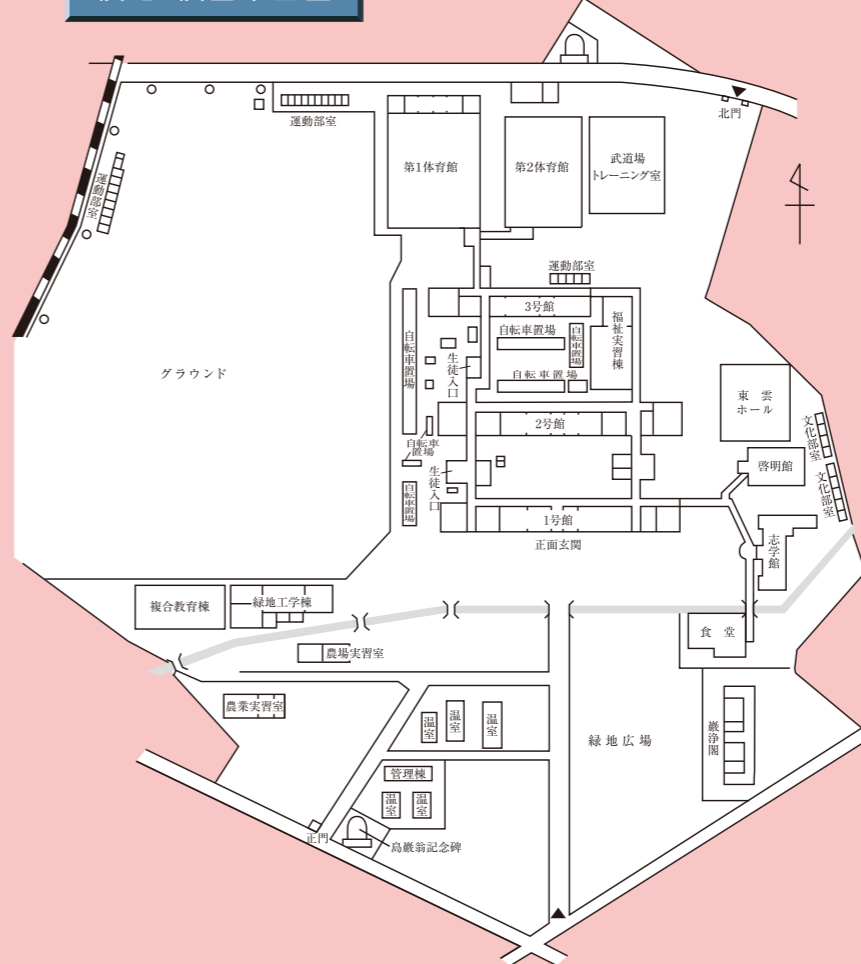
その頃、農学校といえば札幌(現在、北海道大学農学部)駒場(現在、東京大学農学部)など二、三を数えるばかりであったから、まことに卓見というべきである。

ところが、先生は不幸にも明治12年8月、病魔におかされ、再起不能を悟られるや、残された家財全部を、時の石川県令(現在の県知事)に寄付し、これによって農学校を建設されたいと遺言し、9月4日、42歳をもって逝去された。

その後、まもなく、先生の遺志に感奮した地方有志の熱心な運動に一般世論も喚起され遂に簡易農学校の設立が実現したのである。

本校創立の先覚者、島巖先生の篤志を永く記念するため明治42年、頌徳の石碑を本校正門前に建立し、遺徳を偲ぶことになったのである。

校地・校舎平面図



所在地



交通機関

- 本校 JR城端線福野駅下車、0.5km 徒歩で約6分
- 北山田農場 本校より6km、車で約15分 TEL/FAX(0763)52-0812